

5 児童・生徒の健康に関する緊急対応体制

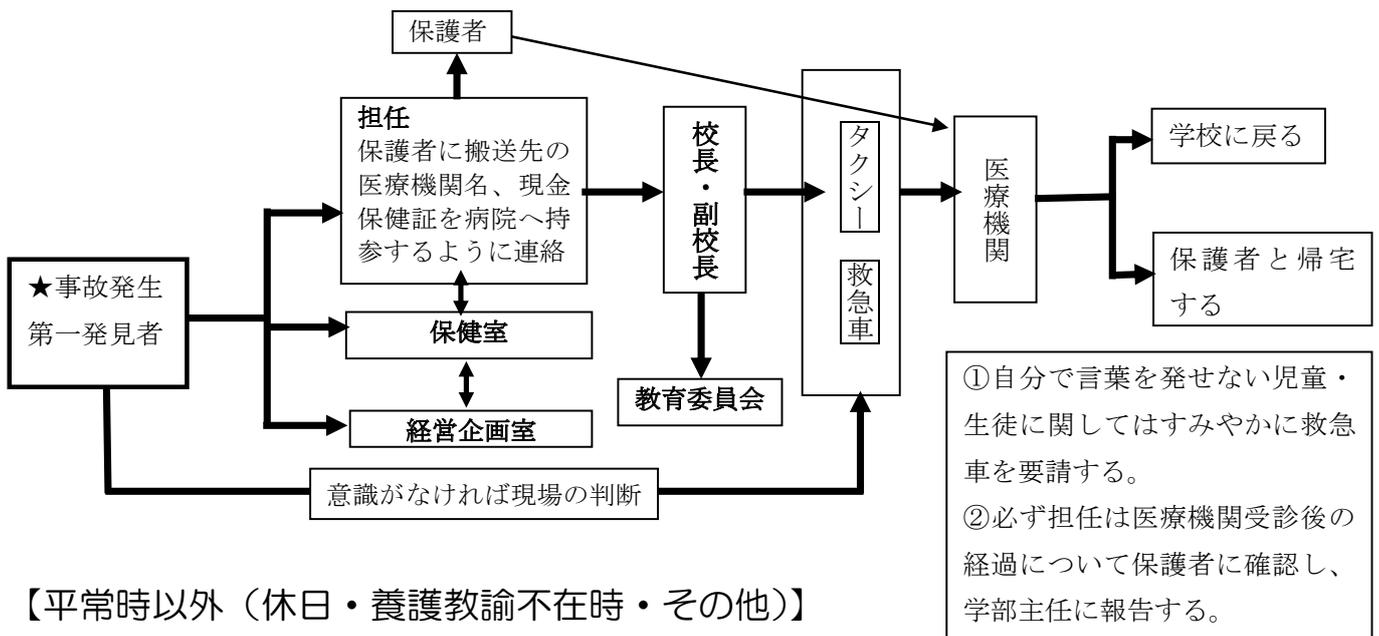
(1) 基本方針

- ①児童・生徒の安全確保、生命維持最優先とする。
- ②全教職員の共通理解のもと、管理職や養護教諭が不在の場合においても、冷静で的確な判断と指示を行う。
- ③適切な対処と迅速正確な連絡・通報を行う。

(2) 緊急時対応体制

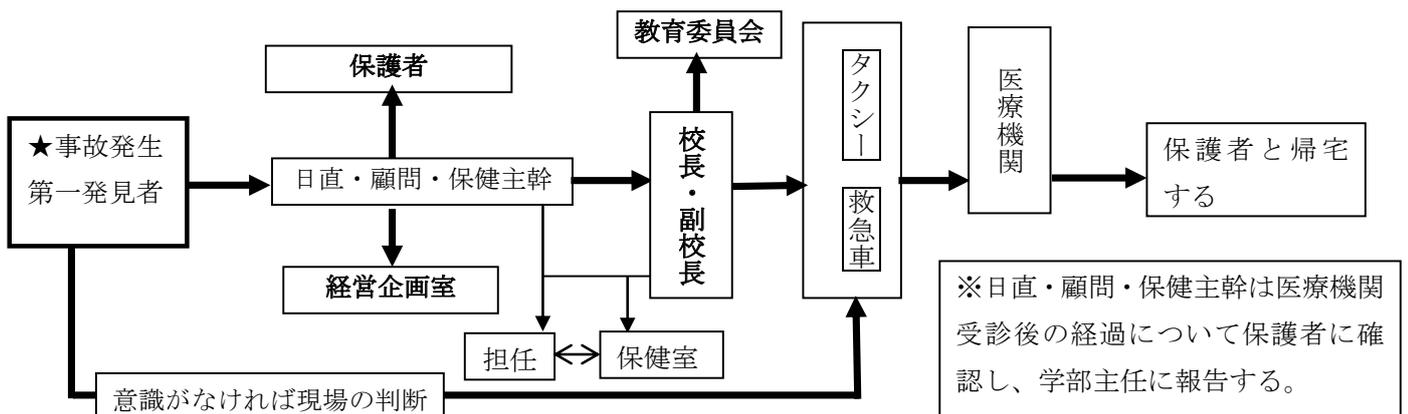
- ①管理職に相談の上、すみやかに「119」通報を行う。
- ②いつ・どこで・誰が・何が起きたか・症状・現在の状況・連絡者名を伝える。

【平常時（授業中・休み時間・放課後）】

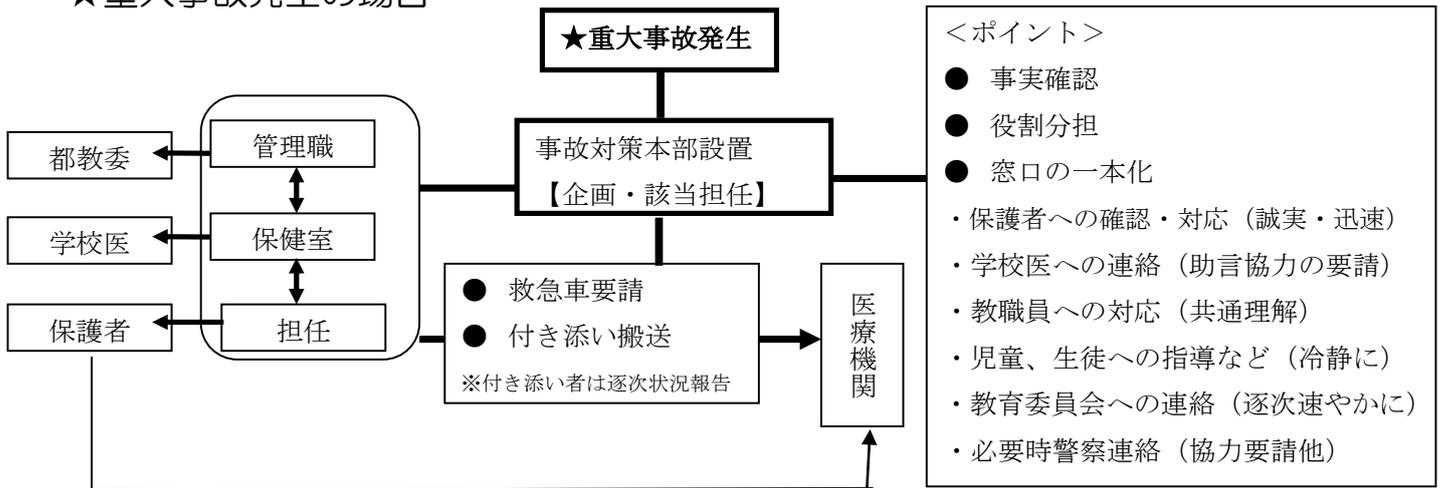


【平常時以外（休日・養護教諭不在時・その他）】

- ※ 日直・経営企画室がない場合は、顧問・第一発見者がその役割を担う。
- ※ 担任・養護教諭には、後程、必ず報告すること。



★重大事故発生の場合



(3) 救急処置

教職員は、教室に掲示してある「緊急時」を確認しながら、迅速に処置を開始する。心肺蘇生法（心臓マッサージ）及びAEDを行う。

